

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									
<b>Q-1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
<b>1.1 騒音</b>									
1 暗騒音レベル									
2 設備騒音対策									
<b>1.2 遮音</b>									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
<b>1.3 吸音</b>									
<b>2 温熱環境</b>									
<b>2.1 室温制御</b>									
1 室温設定									
2 輻射空調・遠赤外線									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 湿度・湿度制御									
6 調湿制御									
7 時間外空調に対する配慮									
8 稼働システム									
<b>2.2 湿度制御</b>									
<b>2.3 空調方式</b>									
1 上下温度差									
2 平均気流速度									
<b>3 光・視環境</b>									
<b>3.1 昼光利用</b>									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
<b>3.2 グレア対策</b>									
1 遮光装置の設置									
2 昼光制御									
<b>3.3 照度</b>									
1 照度									
2 照度均等性									
<b>3.4 照明制御</b>									
<b>4 空気環境</b>									
<b>4.1 発生源対策</b>									
1 化学物質汚染									
2 アスベスト対策									
3 エンビロ									
4 シンセチク対策									
<b>4.2 換気</b>									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 騒音対策									
<b>4.3 運用管理</b>									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q-2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
<b>2.1 耐震・免震</b>									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
<b>2.3 適切な更新</b>									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
<b>2.4 信頼性</b>									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>									
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり									
2 空間の形状・自由さ									
IF: 268.0m/2971.71m <sup>2</sup> =0.09です									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									
1 空調配管の更新性									
2 給排水管の更新性									
3 電気配線の更新性									
4 通信配線の更新性									
5 設備機器の更新性									
6 バックアップスペースの確保									
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>									
1 生物環境の保全と創出									
2 まちなみ・景観への配慮									
3 地域性・アメニティへの配慮									
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
2)内装は道産木材を使用しています。(多目的スペース・図書室壁面) 3)地域開放スペースを玄関前に設けています。 4)開放図書室やグラウンド、屋内運動場を学校開放としています。 5)中庭にはテラスを配置しています。 6)電気錠やスチールロックで防犯しています。また、職員室は玄関とグラウンドが見える位置としています。 7)建設のプロセスには地域住民(保護者含む)と学校関係者で構成した協議会が出た意見を参考に進めました。									
3.2 敷地内温熱環境の向上									
夏の南風を取り入れ北側に抜けるように南・北面に窓を配置。建物前には風が通りやすい様に前庭と歩道を設けています。植栽を緑化率20%設けています。舗装面積率は20%未満です。人の通る場所や吸気口等に排気・排熱口を設けていません。									
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									
<b>LR-1 エネルギー</b>									
1 建築物の熱負荷抑制									
2 自然エネルギー利用									
2a 実施・竣工									
2b 基本									
2.1 自然エネルギーの直接利用									
2.2 自然エネルギーの変換利用									
3 設備システムの高効率化									
3a ERRIによる評価									
3b 個別設備による評価									
3.1 空調設備									
3.2 換気設備									
3.3 照明設備									
3.4 給湯設備									
3.5 昇降機設備									
3.6 エネルギー利用効率化設備									
4 効率的運用									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>									
1 水資源保護									
1.1 節水									
1.2 雨水利用・雑排水再利用									
1 雨水利用システム導入の有無									
2 雑排水再利用システム導入の有無									
2 低環境負荷材									
2.1 資源の再利用効率									
1 躯体材料の再利用効率									
2 非構造材料の再利用効率									
2.2 持続可能な森林から産出された木材									
2.3 有害物質を含まない材料									
2.4 既存建築躯体などの再利用									
2.5 部材の再利用可能性									
2.6 フロン・ハロンの回避									
1 消火剤									
2 断熱材									
3 冷媒									
<b>LR-3 敷地外環境</b>									
1 大気汚染防止									
2 騒音・振動・悪臭の防止									
2.1 騒音									
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照阻害の抑制									
3.1 風害の抑制									
3.2 日照阻害の抑制									
4 光害の抑制									
5 温熱環境悪化の改善									
6 地域インフラへの負荷抑制									
6.1 雨水処理負荷抑制									
6.2 汚水処理負荷抑制									
6.3 交通負荷抑制									
6.4 廃棄物処理負荷									

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建築物の熱負荷抑制		7,102 m <sup>2</sup>	-	-	-	4.0
3 設備システムの ERRIによる評価		5.0	-	-	-	5
高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	-
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	-

スコアシート		重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3.2 換気設備				4.0	-	-	-	-	-
3.3 照明設備				5.0	-	-	-	-	-
3.4 給湯設備				4.0	-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備				-	-	-	-	-	-